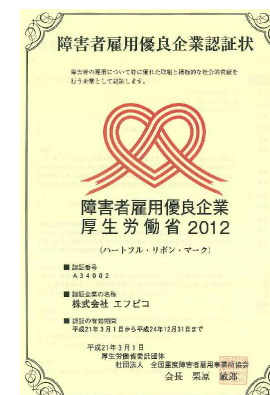


決算説明会

2013年3月期 第2四半期累計期間

株式会社 エフピコ

2012年11月12日



本資料取扱のご注意

本説明会のプレゼンテーションおよび配布資料に掲載する情報に関しまして、細心の注意を払っております。将来の予測等に関する情報は、現時点で入手可能な情報にもとづき、当社が判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本説明会の配布資料に掲載する情報は、無断での引用や転載、複製は禁じられております。

=目次=

◆ <u>実績報告</u>	経理財務本部長	池上 功	4
◆ <u>中・長期目標へ向けて</u>	代表取締役会長	小松 安弘	11
◆ <u>業績状況と企業規模拡大</u>	代表取締役社長	佐藤 守正	22
◆添付資料			27

実績報告

2013年3月期 第2四半期累計

経理財務本部長
池上 功

決算概要 (2013年3月期第2四半期累計期間)

単位: 百万円	第2四半期累計 実績							上期 計画			通期 計画		
	'12/3月期		'13/3月期					'13/3月期			'13/3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	増減	前年比	数量	計画	構成比	達成率	計画	構成比	進捗率
トレー	14,198	18.5	13,794	17.4	-404	97.2%	96.9%	14,720	18.1	93.7%	29,660	18.0	46.5%
弁当・惣菜	37,680	49.0	40,109	50.7	+2,428	106.4%	105.8%	39,960	49.2	100.4%	81,400	49.3	49.3%
小計	51,879	67.5	53,903	68.2	+2,024	103.9%	102.3%	54,680	67.3	98.6%	111,060	67.3	48.5%
その他製品	3,878	5.0	3,326	4.2	-552	85.8%		3,920	4.8	84.9%	7,740	4.7	43.0%
製品売上高	55,757	72.5	57,230	72.4	+1,472	102.6%		58,600	72.1	97.7%	118,800	72.0	48.2%
包装資材	16,688	21.7	17,454	22.1	+765	104.6%		18,170	22.3	96.1%	37,000	22.4	47.2%
その他商品	4,436	5.8	4,403	5.6	-33	99.3%		4,530	5.6	97.2%	9,200	5.6	47.9%
商品売上高	21,125	27.5	21,857	27.6	+732	103.5%		22,700	27.9	96.3%	46,200	28.0	47.3%
売上高	76,882	100.0	79,087	100.0	+2,204	102.9%		81,300	100.0	97.3%	165,000	100.0	47.9%
営業利益	6,892	9.0	7,413	9.4	+521	107.5%		7,400	9.1	100.2%	15,890	9.6	46.7%
経常利益	6,917	9.0	7,528	9.5	+611	108.8%		7,500	9.2	100.4%	16,100	9.8	46.8%
四半期(当期)純利益	3,781	4.9	4,393	5.6	+612	116.2%		4,380	5.4	100.3%	9,420	5.7	46.6%

■ 販売

製品 > 価格競争局面のトレー容器が減収も、
軽量化・新デザイン容器等を始めとする弁当・惣菜容器がカバー

出荷枚数 : 前年同期比102.3%に伸長
 トレー容器 : 再生材料を使用した「エフピコ エコAPETシリーズ」を拡販
 弁当・惣菜容器 : 耐寒・耐熱 発泡容器のマルチFP、
 軽量化製品の寿司・刺身容器が好調

商品 > 包装資材の取扱量が拡大、ピッキングセンター投資の効果が顕在化し始める

◇ 生産

生産性および品質の向上に取り組み、需要拡大に備えた生産能力の増強と生産拠点の最適化を進める

◇ 物流

需要に即した供給体制の構築、物流品質およびサービスレベルの向上、流通コストの削減を推進、物流ネットワークの拡充と整備を継続

◇ 環境

回収量を拡大し地上資源の循環および障がい者の雇用を推進、再生原料メーカーとして原材料価格高騰へ対応

経常利益増減要因 (2013年3月期 第2四半期累計期間)

単位: 億円

上期
実績

上期計画差異

2012年3月期実績 149.5億

上期実績 69.17億

下期実績 80.3億

+4.0

-3

(Δ2.0, Δ1.0)

原料値上り

Δ2.5

+6.5

(+6.0, +0.5)

製品値上げ効果 (前期 '12年3月期第2四半期より)

+1.0

+9

(+3.5, +5.5)

販売増・MIX改善
(新製品効果)

Δ1.0

+1

(+0.5, +0.5)

生産改善

(電力料上昇折込 済み)

+1

(+0.5, +0.5)

物流改善

Δ0.5

+0.5

(+0.5, +0.0)

グループ会社 利益改善

Δ0.5

-5.5

(Δ2.0, Δ3.5)

戦略投資による経費増加

Δ0.4

-3.4

(Δ1.32, Δ2.07)

経費増加等

上期販売実績

売上高**790.8**億 102.9%

製品売上:**102.6%** +14.7億

製品数量:**102.3%** (トレ-96.9%、弁当・惣菜105.8%)

商品売上:**103.5%** +7.3億

+11.5億 利益改善

(+5.0, +6.5)

Δ0.5

-8.9億 経費増

(Δ5.5, Δ3.39)

Δ0.9

戦略投資

- ・関東八千代工場 '12/7 竣工
- ・アイ・ロジック関東ピッキング拡充 '12/4 稼動
- ・PSP製品 生産開始 '12/5
- ・PET二軸延伸製品 上市 '12/11
- ・クロネス2号機 '12/7 稼動
- ・九州、関西に物流拠点拡充用地取得
- ・ダイヤフーズ設備更新

前期比 +6.1億

108.8%

上期実績 75.28億

下期計画 86億

前期比 +6億 107%

2013年3月期計画 161億

前期比 +12億 108%

貸借対照表 (2013年3月期第2四半累計期間)

単位: 百万円	前連結会計年度		当第2四半期連結会計期間			
	'12/3月期 '12/3/31	'12/9/30	増減	'13/3月期 前年比	主な増減内訳	
流動資産	72,310	73,558	+1,248	101.7%	受取手形及び売掛金 商品及び製品 現金及び預金	1,210 499 △ 672
固定資産	93,654	98,948	+5,293	105.7%	有形固定資産	5,759
資産合計	165,964	172,507	+6,542	103.9%		
流動負債	70,551	68,322	-2,229	96.8%	買掛金 短期借入金 未払法人税等 その他流動負債	425 393 △ 1,061 △ 1,884
固定負債	25,210	31,128	+5,918	123.5%	長期借入金 その他固定負債	4,600 1,231
負債合計	95,762	99,450	+3,688	103.9%		
純資産合計	70,202	73,056	+2,854	104.1%	利益余剰金	3,149
負債純資産合計	165,964	172,507	+6,542	103.9%		

- ◇ 資産 関東八千代工場、ピッキングセンター拡充(関西、九州)等の戦略投資により増加、将来の収益獲得に向け布石
- ◇ 負債 戦略投資の原資として長期借入金が増加、日銀新貸出制度の利用等により資金調達コストの圧縮を図る
- ◇ 純資産 経営体質の充実強化、および、事業拡大に向けての機動的な対応への備えとして内部留保の充実へ

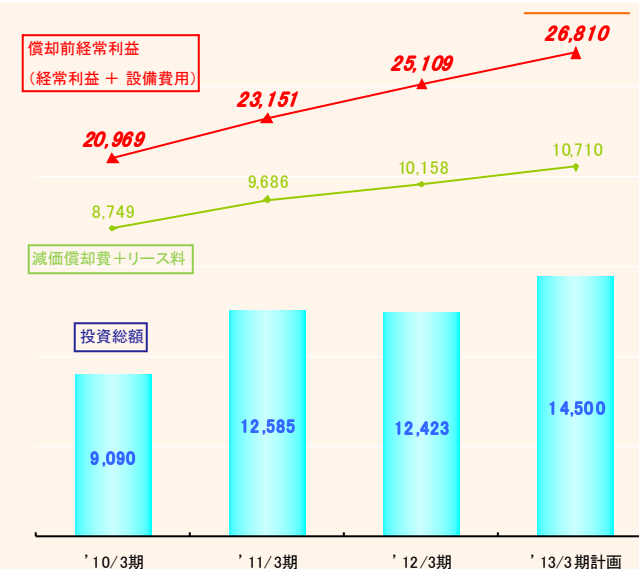
設備投資・研究開発費 (2013年3月期 第2四半期累計期間)

単位: 百万円	第2四半期累計 実績				上期 計画		通期 計画	
	'12/3月期 実績	'13/3月期			'13/3月期		'13/3月期	
		実績	増減	前年比	計画	進捗率	計画	進捗率
有形固定資産	5,649	10,543	+4,894	186.6%	11,900	88.6%	14,100	74.8%
内、土地	255	1,176	+921	461.4%	1,100	107.0%	1,100	107.0%
無形固定資産	133	160	+27	120.2%	200	79.9%	400	40.0%
設備投資	5,782	10,703	+4,921	185.1%	12,100	88.5%	14,500	73.8%
減価償却	4,610	4,689	+80	101.7%	4,930	95.1%	10,350	45.3%
研究開発費	492	529	+38	107.6%	540	98.1%	1,090	48.6%

※設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

主な設備投資

単位: 百万円	投資総額	上期実績	下期計画	通期計画
◆ 関東八千代工場(関東新工場) 平成24年7月 竣工	8,500	5,798	677	6,475
◆ PETリサイクル工場設備 (PETリサイクルプラント2号機 平成24年7月 稼働)	1,000 690	934	66	1,000
◆ ピッキングセンター拡充 九州物流拠点 平成25年7月 稼働予定 関西物流拠点 平成25年10月 稼働予定	6,500 1,920 見込み) 4,580 見込み)	1,137	474	1,611
◆ 金型		580	1,112	1,692
◆ IT投資		237	480	717



キャッシュ・フロー (2013年3月期 第2四半期累計期間)

	第2四半期累計実績		
	'12/3月期 実績	実績	'13/3月期 主な内訳
営業活動によるC/F	6,378	6,609	税金等調整前当期純利益 7,330 減価償却費 4,689 仕入債務の増加 462 売上債権の増加 △ 1,288 たな卸資産の増加 △ 637 法人税等の支払 △ 3,884
投資活動によるC/F	△ 5,951	△ 9,892	有形固定資産の取得 △ 9,671
フリーキャッシュフロー	427	△ 3,283	
財務活動によるC/F	△ 1,174	2,609	借入金等の純増加額 5,082 配当金の支払額 △ 1,241 リース債務の返済 △ 1,223
現金及び現金同等物の増減額	△ 749	△ 672	
現金及び現金同等物の期末残高	12,523	13,236	

利益の伸びを背景に営業CFは堅調に推移、一方で関東八千代工場(関東新工場)を始めとする戦略投資の上期集中により財務CFが増加

経常利益増減要因 (2013年3月期 通期見通し)

単位: 億円

上期計画差異

上期実績

下期見通し

下期計画差異

2012年3月期実績 149.5億

上期実績 69.17億

下期実績 80.3億

-11.5億 原料値上り

+4.0 -3

-8.5 +3.5

原材料価格 依然高値圏で推移

+6.5億 製品値上げ効果(前期実施)

△2.5 +6.5

+0 △3.0

価格競争への対応

'12年3月期第2四半期より効果

**+23億 販売増・MIX改善
(新製品効果)**

+1.0 +9

+14

販売計画

売上高**1,650**億 106%

製品売上:**105%** +57億

製品数量:**106%**

商品売上:**109%** +36億

+5億 生産改善

※ 電力料上昇折込 済み

△1.0 +1

+4

+33億 利益改善

△0.5

△0.5

+3億 物流改善

+1

+2

+2億 グループ会社 利益改善

△0.5 +0.5

+1.5

△0.5

-16.4億 経費増

△0.9

-10.5億 戦略投資による経費増加

△0.5 -5.5

-5

戦略投資

-5.9億 経費増加等

△0.4 -3.4

-2.5

- ・ 関東八千代工場 '12/7 竣工
- ・ アイ・ロジック関東ピッキング拡充 '12/4 稼動
- ・ PSP製品 生産開始 '12/5
- ・ PET二軸延伸製品 上市 '12/11
- ・ クロネス2号機 '12/7 稼動
- ・ 九州、関西に物流拠点拡充用地取得
- ・ ダイヤフーズ設備更新

上期実績 75.28億

前期比 +6.1億 108.8%

下期計画 86億

前期比 +6億 107%

2013年3月期計画 161億

前期比 +12億 108%

中・長期目標へ向けて

代表取締役会長
小松 安弘

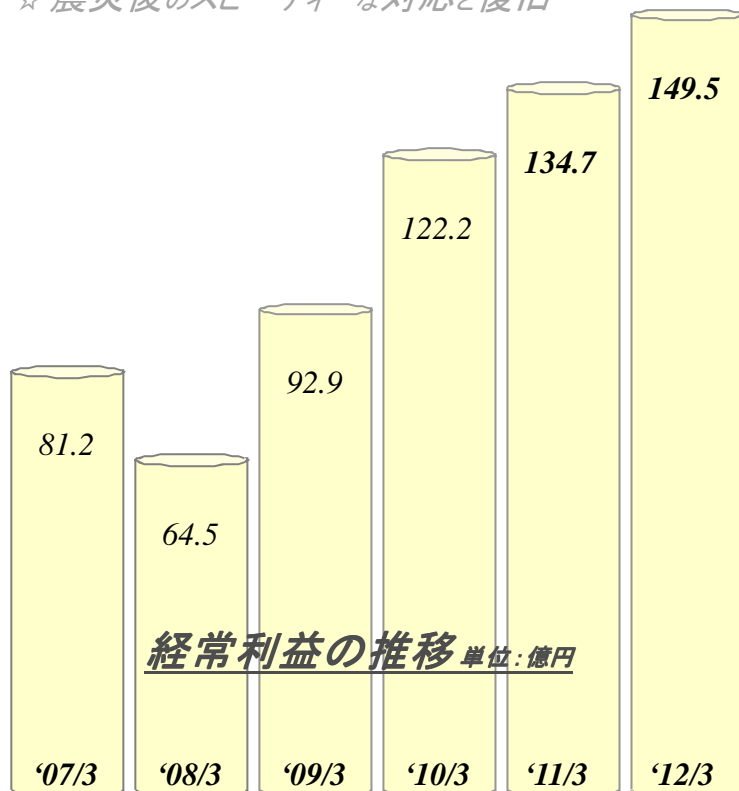
連結決算のポイントと今後の見通し

☆ 原材料価格 急騰 への 対応

- ・ 徹底した製品軽量化と素材切り替え
- ・ 製品価格への転嫁
- ・ 値引き削減
- ・ 不採算取引の見直し

☆ 企業統合 による 規模拡大

☆ 震災後のスピーディーな対応と復旧



» 世界初の素材・機能

- ◇ MFP(マルチFP)販売増 →MSD(マルチソリッド)上市

- ◇ 新PP透明容器 上市
- ◇ PET二軸延伸製品 上市 11月

» 持続的な新製品投入

- ◇ 2,000品種の製品を上市

» 戦略投資

- ☆ '12.7 関東八千代工場 竣工
- '12.4 アイ・ロジック関東ピッキングセンター 稼働
- '12.5 PSP製品 生産開始
- '12.11 PET二軸延伸製品 上市
- ☆ '12.7 クロネス2号機 稼働
- ☆ 関西、九州に物流拠点拡充用地取得
- ☆ ダイヤフーズ設備更新

» 企業統合による 規模拡大とシナジー

» 徹底した社内改善

» 地上資源の循環

- ◇ 「エフピコエコAPETシリーズ」上市 5月

» 価格競争への 対応

販売計画

売上高 **1,650**億 106%
 製品売上: **105%** +57億
 製品数量: **106%**
 商品売上: **109%** +36億

経常利益計画

161億

75.28
 +6.11
 108.8%

上期

設備投資計画
145億

目標とする中期経営指標

1株当たり純利益 **450**円

'13/3

原材料動向

＝ご参考＝

‘08年末より **急落**

‘09年中旬より **再度値上り**

‘11年初旬より **急騰**

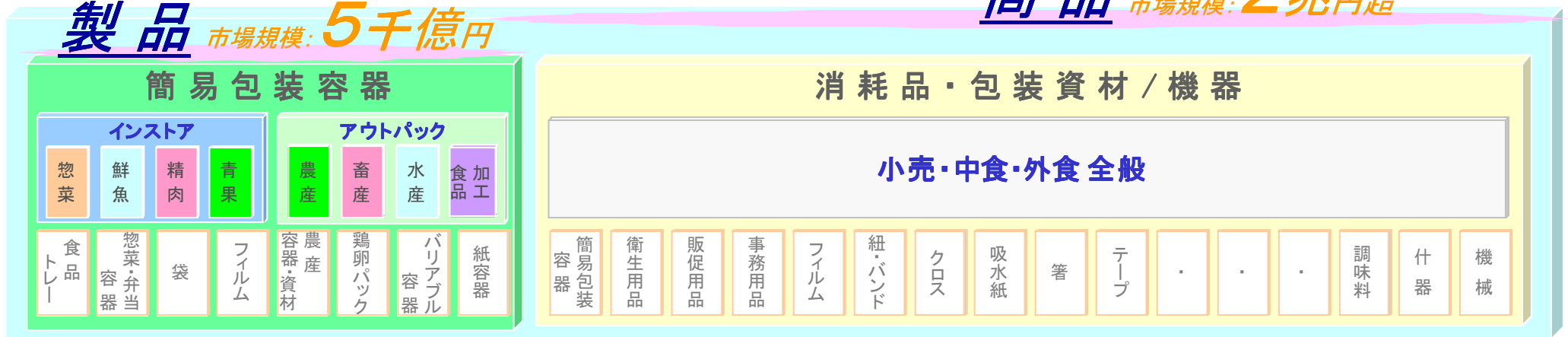


マーケットへの取り組み

＝ご参考＝

製品 市場規模: **5千億円**

商品 市場規模: **2兆円超**



得意分野で
優位性の確立

新規分野の攻略

問屋サポート

事業提携・M&A

世界初の素材・機能

物流ネットワーク & SCM

エピコグループの優位性

製品/素材力

提案力

調達力

物流力

環境経営

社会責任

インフラ

エピコ

エピコ商事

包装資材・消耗品メーカー

【製品】5千億円マーケットでのシェア拡大

5つの新シート+αでシェア拡大

② 新PP透明 耐熱透明

耐熱: +120℃
 透明度アップ: OPS並みを実現
 MFP共+PP耐熱透明蓋

⑤ 新発泡PP (新HS)

1.8倍発泡 → 3.5倍発泡



③ PET二軸延伸 透明 (11月)

耐熱アップ: +80℃
 強度アップ: 更なる軽量化が可能
 シート厚みmm: 0.20~0.18



④ PET一軸延伸 透明

耐熱アップ: +70℃
 強度アップ: 軽量化が可能
 シート厚みmm: 0.23~0.21 ← (従来0.32~0.30)

④' 「エフピコエコAPETシリーズ」上市 (5月)

CO2削減、環境負荷低減

PS : ポリスチレン
 PSP : 発泡ポリスチレン
 OPS : 透明ポリスチレン
 PET : ポリエチレンテレフタレート
 PP : ポリプロピレン

今期 **2,000** 品種の新製品を投入

① MFP (マルチFP)

広い温度帯をカバー: -40℃ ~ +110℃
 断熱性: レンジアップしても、手で持て、軟化変形しにくい



- ★ 井プロジェクト
- ★ MFP端材の循環

→ ① 'MSD (マルチソリッド)



☆ 新マーケット

- ・農産品向け容器・軟包装(フィルム)
- ・食品加工メーカー向け容器
- ・鶏卵パック
- ・紙容器



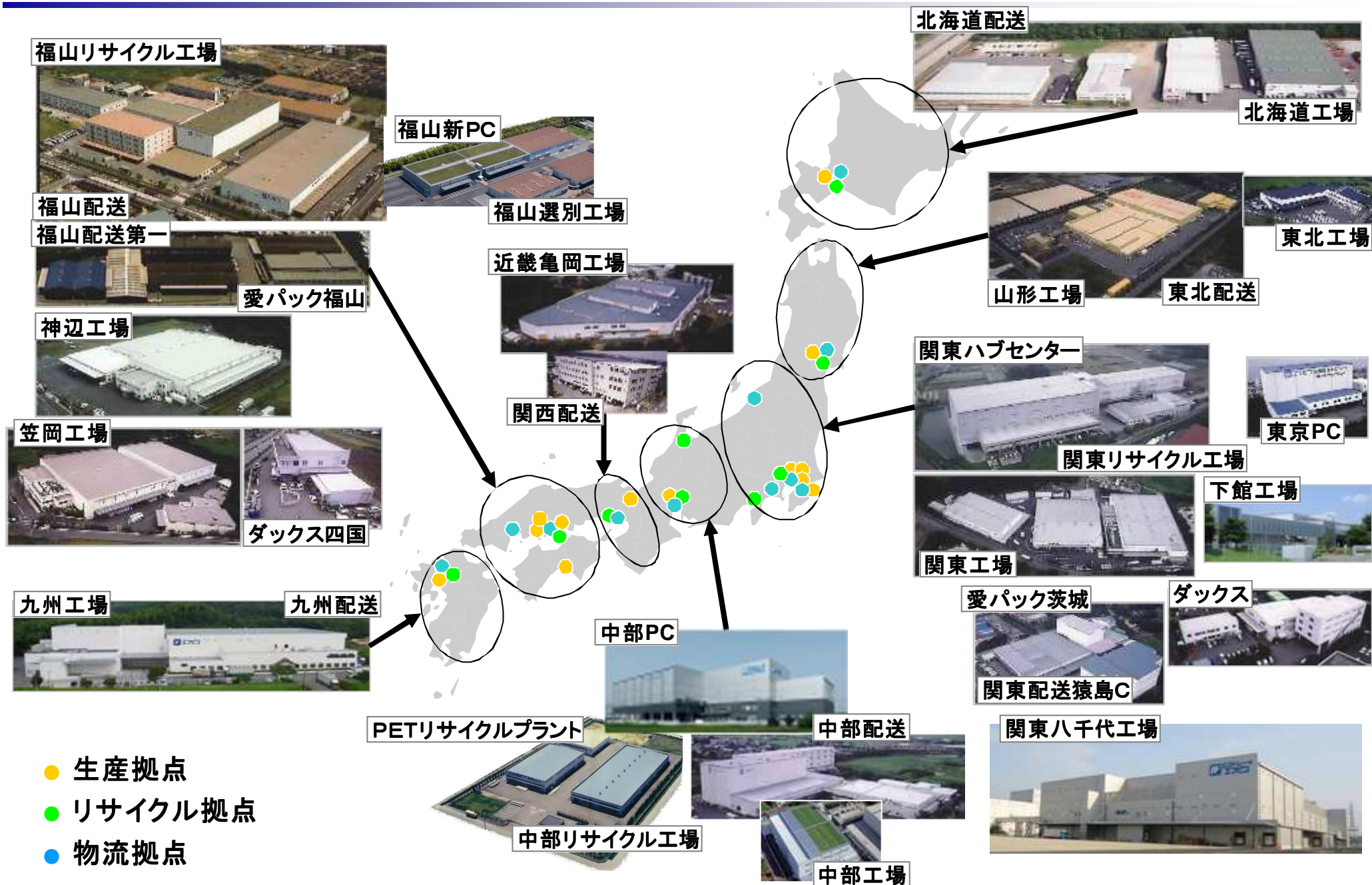
☆ 新機能・デザイン

- ・スクリュータイプ容器 (漏れにくい・繰り返し使える)
- ・漏れにくい容器: PET、PP
- ・内容物がずれにくい容器
- ・ボリューム感の訴求
- ・新デザイン容器



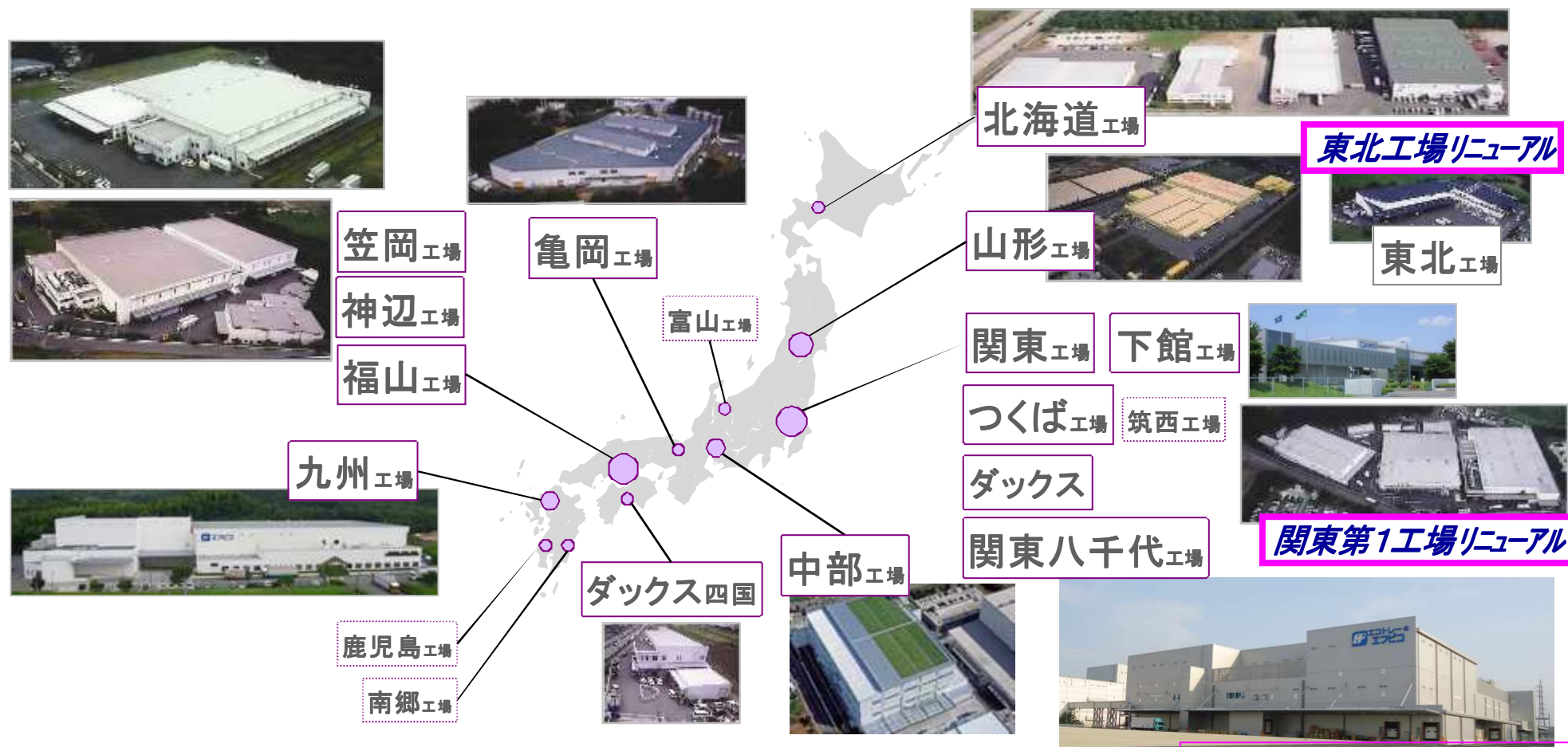
図: 素材別シェア (重量ベース)

全国を網羅するエフピコネットワーク



【生産】

消費地近郊での生産供給体制



トータルで競争力のある製品作り、
販売増加への備え

5月 PSP生産開始
11月 PET二軸延伸製品上市

【物流】2兆円マーケットへの挑戦

全国を高品質で効率的な物流サービスでフルカバー



平成26年度には

★配送センター 6拠点 : 12万80百坪

★ピッキングセンター 11拠点 : 4万1百坪

計16万81百坪 東京ドーム11個分超の規模

【リサイクル】

環境と障がい者雇用が一体化した事業

-'12年3月期-

8,200 拠点から 8,550 トンを回収

地上資源の循環

160 億円のエコトレ販売



-'12年3月末-

障がい者雇用数: **678** (雇用実人数399名)

・ 特例子会社

法定雇用率: **16.3%**

・ 就労継続支援A型事業所

Cネット福井 ペットボトル減容 11月

福山リサイクル

福山選別

九州選別

西宮選別

中部選別

中部リサイクル

PET効ニカルリサイクル

関東選別

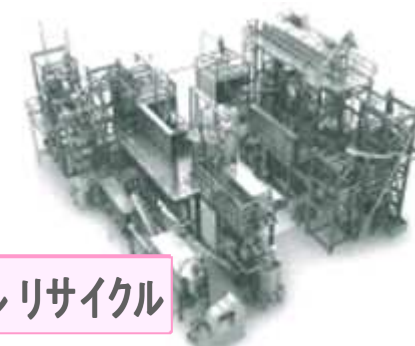
関東リサイクル

東海選別

山形選別

バンビの杜 ペットボトル減容 6月

北海道選別



「エフピコエコAPETシリーズ」上市 (5月)

「トレー toトレー」+「ボトル toトレー」

回収量の拡大と回収率アップ

クロネス 1+2号機稼動で

2万トン/年の再生能力

戦略投資

関東八千代工場



☆ 関東八千代工場の新設

‘11年4月着工、’12年7月竣工、
3層 延14,500坪(1階:生産工場 2階:ピッキング 3階:倉庫)

投資総額**85億**

- ✓ ‘12年4月、物流機能 稼働
- ✓ ‘12年5月、PSP製品 生産開始
- ✓ ‘12年11月、PET二軸延伸製品 上市

☆ リサイクル事業の拡大

- ✓ ‘12年5月、「エフピコ エコAPETシリーズ」上市
- ✓ ‘12年7月、中部にてPETリサイクルプラント 2号機 稼働
- ✓ PETリサイクル事業拡大に向けプラント展開予定



PETリサイクルは
2万トンの再生能力へ

九州物流拠点 拡充



関西物流拠点 拡充



投資総額**65億**を見込む

☆ ピッキングセンター拡充

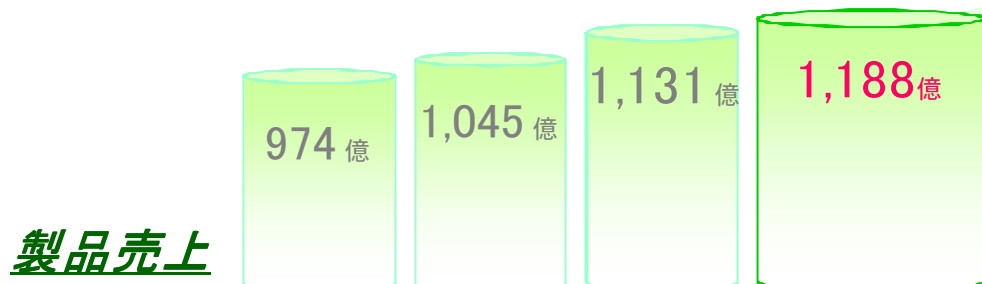
- ✓ 九州 及び 関西 に 物流拠点拡充用地取得
- ✓ 新九州ピッキングセンター ‘13年7月稼働予定、新関西ピッキングセンター ‘13年10月稼働予定

☆ ダイヤフーズ設備更新

‘13年3月期 設備投資**145億円**を予定

【中期目標】

5千億円マーケットでのシェア拡大



- ☆ 世界初のシート・素材
- ☆ 新マーケット創造
- ☆ M & A
- ☆ 持続的な新製品投入

◇ グローバルマーケット

経常利益率 12%



2兆円マーケットへの挑戦



- ☆ BtoB 取組加速
- ☆ 問屋様サポート(インフラ活用)
 - ・ 共同仕入、共同配送
 - ・ グローバル調達

経常利益率 6%



売上高 1,249 億 1,407 億 1,557 億 1,650 億

経常利益 122.2 億 134.7 億 149.5 億 161 億

設備投資 91 億 126 億 124 億 145 億

48期 49期 50期 51期計画

3,000 億

300 億

中期目標

業績状況と企業規模拡大

代表取締役社長
佐藤 守正

世界初の素材・シート シート加工メーカーからの脱却

PP:ポリプロピレン

- ★ 耐熱性がある: +110°C
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 発泡が難しく、軽量化しにくい
- ★ コシ強度が低い
- ★ 耐寒性に劣る
- ★ 透明性が出難い



PS:ポリスチレン



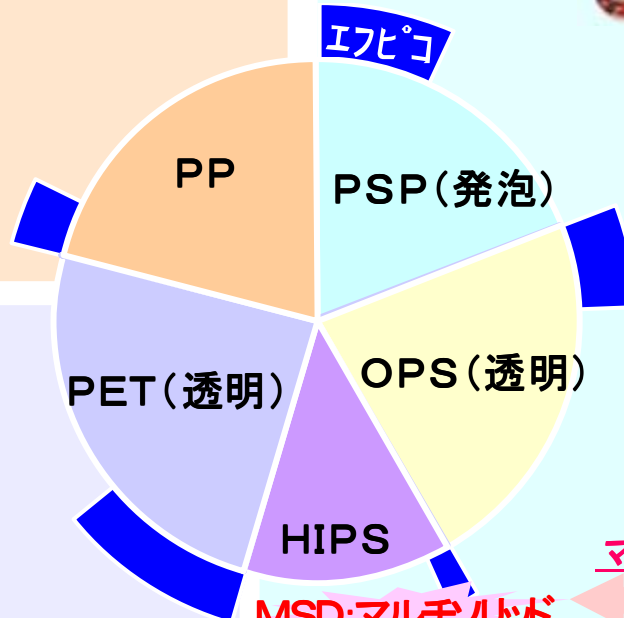
PSP:発泡ポリスチレン

- ★ 成型性が良い
- ★ 原材料比率が低い
- ★ 軽量化が可能
- ★ 断熱性が高い
- ★ 耐熱性が低い: +70°C
- ★ 耐油性に劣る



新PP透明

- ★ 耐熱性がある: +120°C
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 透明性がOPSと同等



MFP:マルチFP:発泡ポリスチレン

- ★ 成型性が良い
- ★ 原材料比率が低い
- ★ 断熱性が高い
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 幅広い温度帯をカバー
-40°C ~ +110°C
- ★ コシ強度がある
- ★ 更なる軽量化が可能



PET:ポリエチレンテレフタレート

- ★ 最後発樹脂
- ★ 透明性が高い
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 耐熱性が低い: +60°C
- ★ 比重が大きい

OPET:PET二軸延伸

- ★ 透明性が高い
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 耐熱性がOPSと同等: +80°C
- ★ 延伸により軽量化が可能
- ★ 成型が難しい

MSD:マルチリトド:非発泡ポリスチレン



OPS:延伸ポリスチレン

- ★ 透明性がある
- ★ 耐熱性: +80°C
- ★ 耐油性に劣る
- ★ 軽量化に限界

マルチFP端材の循環

耐熱容器 販売状況



※ 中央円グラフ: 素材別シェア (重量ベース)

マーケットの状況

オーバーストアによる競争激化

ナショナルチェーンの地方進出

CVSの旺盛な出店

他業種(ドラッグストア・ホームセンター)からの参入

プライベートブランドの拡大

地方スーパーの優劣が更に進行

地方SMの淘汰

更なる合理化要請

インストアからアウトパックへ

ロングライフ商品

地方問屋の経営悪化

物流合理化

Cランク品在庫削減

新技術

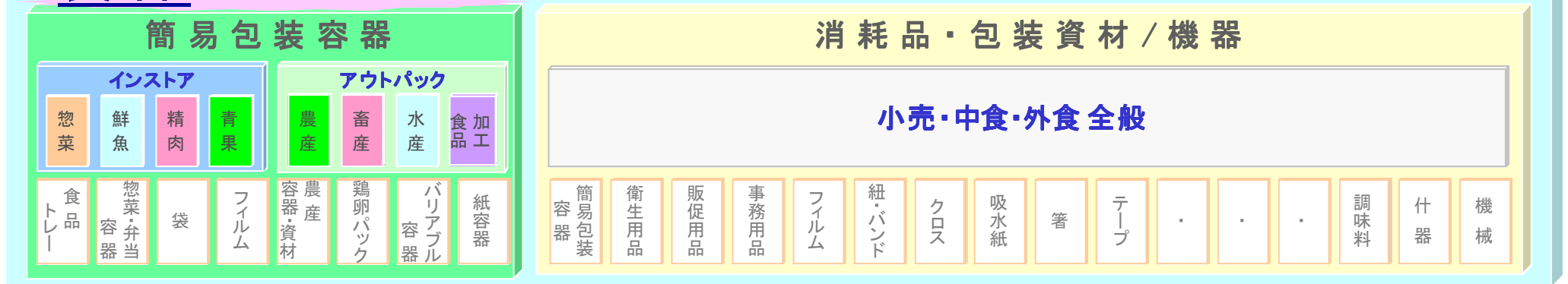
商品調達力

新製品開発

マーケットへの取り組み

製品 市場規模: **5千億円**

商品 市場規模: **2兆円超**



得意分野で
優位性の確立

新規分野の攻略

問屋サポート

事業提携・M&A

世界初の素材・機能

物流ネットワーク & SCM

エピコグループの優位性

製品/素材力

提案力

調達力

物流力

環境経営

社会責任

インフラ

エピコ

エピコ商事

包装資材・消耗品メーカー

物流ネットワーク整備

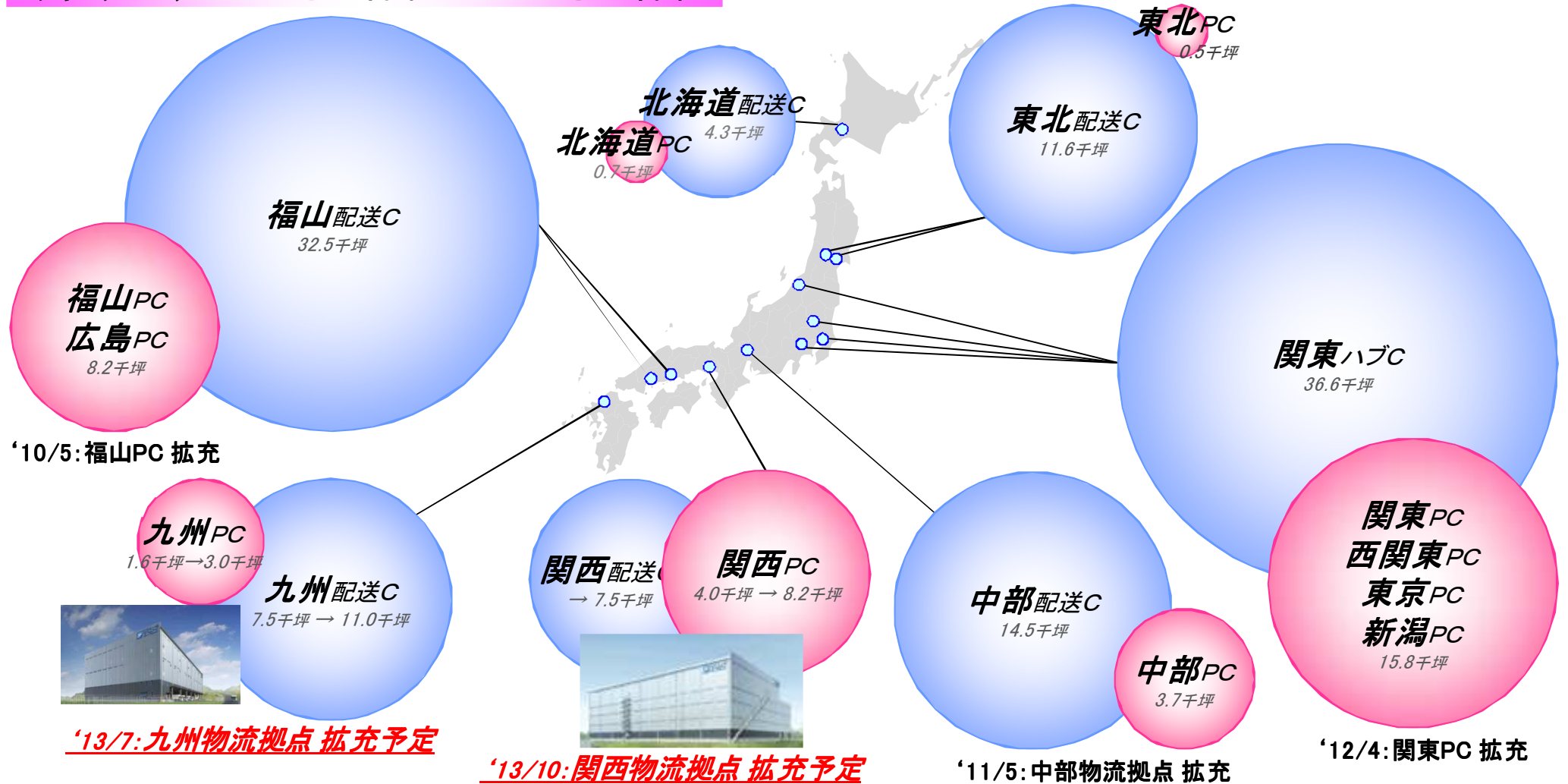
‘13年10月には

高品質で効率的な物流サービスにより

全国をフルカバー

配送センター: 10万70百坪 → 11万80百坪

ピッキングセンター: 3万45百坪 → 4万01百坪



添付資料

施設見学のご案内

- ・ご都合の良い日時で見学いただけます
- ・見学時間: 約3時間
- ・受付: 経営企画室 児玉 03-5325-7756

中部施設見学

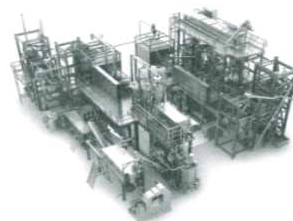
・最寄駅: JR東海 岐阜羽島駅

- ☆ 選別センター
・発泡PS容器 色選別
・透明容器 素材選別

- ☆ リサイクル工場
・PS容器リサイクル
・PET容器リサイクル、PETボトルリサイクル

- ☆ 配送センター・ピッキングセンター

- ☆ 生産工場
・PSP(発泡PS)製品生産



PETメカリサイクルプラント

PETリサイクル

容器選別
PSリサイクル



中部ピッキングセンター
中部第2配送センター



関東施設見学

・最寄駅: JR東日本 古河駅

- ☆ 選別センター
・発泡PS容器 色選別
・透明容器 素材選別

- ☆ リサイクル工場
・PS容器リサイクル

- ☆ 配送センター・ピッキングセンター

- ☆ 関東八千代工場
・PSP(発泡PS)製品生産
・PET二軸延伸シート生産
・PET二軸延伸容器生産



リサイクル工場

関東ピッキングセンター
関東ハブセンター

関東八千代工場

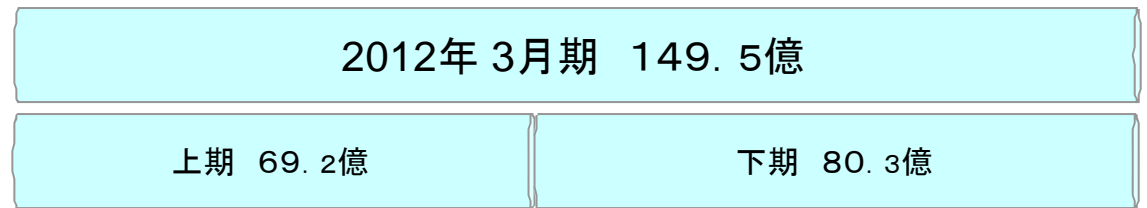
最新鋭の生産～物流～リサイクルをご覧ください。

2013年3月期 経常利益 見通し

平成24年5月14日 説明資料

単位: 億円

上期 下期

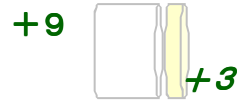


-19億 原料値上り



原材料価格 依然高値圏で推移

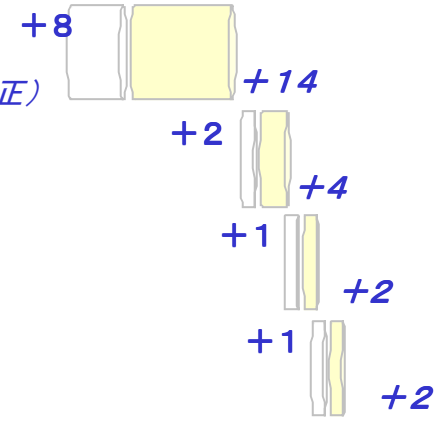
+12億 製品値上げ効果(前期実施)



製品値上げ効果 '12年3月期第2四半期より効果

+34億 利益改善

- +22億 販売増・MIX改善 (新製品効果・価格是正)
- +6億 生産改善
- +3億 物流改善
- +3億 グループ会社 利益改善



販売計画

売上高 **1,650億** 106%

製品売上: **105%** +57億

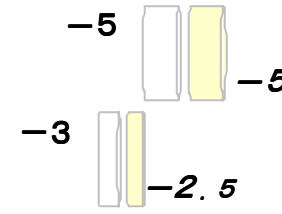
製品数量: **106%**

商品売上: **109%** +36億

※ 電力料上昇折込 済み

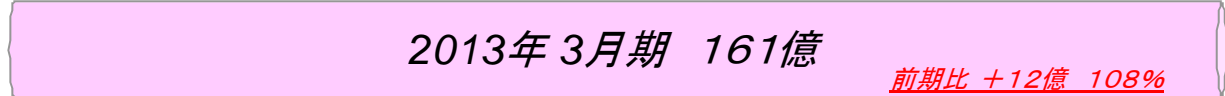
-15.5億 経費増

- 10億 戦略投資による経費増加
- 5.5億 経費増加等



戦略投資

- ・アイ・ロジック関東ピッキング拡充 '12/4 稼動
- ・関東新工場 '12/5 稼動
- ・クロネス2号機 '12/6 稼動予定
- ・西宮、福岡ピッキングセンター拡充
- ・ダイヤフーズ設備更新



販売計画 (2013年3月期)

平成24年5月14日 説明資料

単位: 百万円	実績		計画		増減	前年比	中間期		
	12/3月期	構成比	13/3月期	構成比			構成比	前年比	
トレー 容器	28,681	18.4	29,660	18.0	+ 978	103.4%	14,720	18.1	103.7%
弁当・惣菜 容器	76,842	49.4	81,400	49.3	+ 4,557	105.9%	39,960	49.2	106.0%
小計	105,523	67.8	111,060	67.3	+ 5,535	105.2%	54,680	67.3	105.4%
その他 製品	7,566	4.9	7,740	4.7	+ 173	102.3%	3,920	4.8	101.1%
【製品】	113,090	72.6	118,800	72.0	+ 5,709	105.0%	58,600	72.1	105.1%
包装資材	33,627	21.6	37,000	22.4	+ 3,372	110.0%	18,170	22.3	108.9%
その他 商品	8,963	5.8	9,200	5.6	+ 236	102.6%	4,530	5.6	102.1%
【商品】	42,591	27.4	46,200	28.0	+ 3,608	108.5%	22,700	27.9	107.5%
【売上高】	155,681	100.0	165,000	100.0	+ 9,318	106.0%	81,300	100.0	105.7%

■製品

- ・出荷枚数 前年比106%伸長
- ・軽量化、素材切替、新素材開発、機能開発などにより、既存マーケットでのシェア拡大
- ・用途開発によるマーケット拡大
- ・「エフピコ エコAPETシリーズ」(再商品化製品)の上市

■商品

- ・グループの物流ネットワークを最大限に生かし、取扱量の増加

決算計画概要 (2013年3月期)

平成24年5月14日 説明資料

単位:百万円	実績		計画				中間期		
	12/3月期	構成比	13/3月期	構成比	増減	前年比	中間期	構成比	前年比
【純売上高】	155,681	100.0	165,000	100.0	+ 9,318	106.0%	81,300	100.0	105.7%
製品売上高	113,090	72.6	118,800	72.0	+ 5,709	105.0%	58,600	72.1	105.1%
商品売上高	42,591	27.4	46,200	28.0	+ 3,608	108.5%	22,700	27.9	107.5%
【営業利益】	14,221	9.1	15,890	9.6	+ 1,668	111.7%	7,400	9.1	112.3%
【経常利益】	14,951	9.6	16,100	9.8	+ 1,148	107.7%	7,500	9.2	108.4%
【当期利益】	8,093	5.2	9,420	5.7	+ 1,326	116.4%	4,380	5.4	115.8%

※12/3月期 営業外収益に計上されている 障がい者雇用にかかわる補助金に配慮

補助金収入	611								
【営業利益】	14,832	9.5	15,890	9.6	+ 1,058	107.1%	7,400	9.1	107.4%

販売面 : 既存マーケットでのシェア拡大と、用途開発による新規マーケットへの進出を図る
 当社グループの物流ネットワークを最大限に生かし、商品取扱量の増加を図る

技術面 : 最新鋭の設備導入と更新を行い、製品の軽量化、素材切替、新機能開発、新素材開発など、技術革新を推し進める

生産面 : 生産性および品質の向上に取り組み、需要拡大に対応した生産能力の拡大と生産拠点の最適化

物流面 : 物流ネットワークの更なる整備により、流通全体でのトータルコスト削減と品質向上を図り、ピッキング需要の拡大に備える

環境面 : 発泡スチロール製食品用トレーの自主的な回収に加え、新たに展開した透明容器の自主的な回収を加速し、さらなる循環型社会の形成に努める

設備投資・研究開発費計画 (2013年3月期) 平成24年5月14日 説明資料

単位:百万円		実績	計画		中間期		
		12/3月期	13/3月期	増減	前年比	前年比	
設		12,423	14,500	+ 2,076	116.7%	12,100	209.2%
備	有形固定資産	12,093	14,100	+ 2,006	116.6%	11,900	210.6%
投	内、土地	403	1,100	+ 696		1,100	
資	無形固定資産	329	400	+ 70	121.2%	200	149.7%
	減価償却費	9,728	10,350	+ 621	106.4%	4,930	106.9%
	研究開発費	1,051	1,090	+ 38	103.6%	540	109.7%

※設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

主な設備投資

	百万円
◆関東八千代工場(関東新工場)	2,932 (投資総額 8,700百万円) '12/5 稼動
◆PETリサイクル工場設備	1,000 PETメカニカルリサイクルプラント2号機 (投資額 680百万円) '12/6 稼動予定
◆関西新ピッキングセンター	1,233 (投資総額 3,500百万円) '13/10 稼動予定
◆九州新倉庫	272 (投資総額 1,960百万円) '13/6 稼動予定
◆金型	1,691
◆IT投資	717

経常利益 増減要因 推移

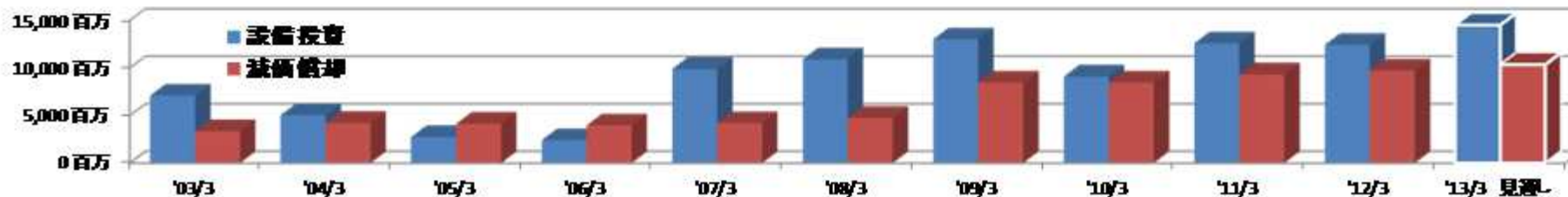
単位: 億円

	41期	42期	43期	44期	45期	46期 '08/3			47期 '09/3			48期 '10/3			49期 '11/3			50期 '12/3			51期 見通し '13/3			
						上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	
前期 経常利益	63.1	28.6	33.6	36.3	66.5	43.4	37.8	81.2	32.0	32.5	64.5	39.2	53.7	92.9	60.1	62.1	122.2	68.3	66.4	134.7	69.2	80.3	149.5	
原料値上り影響	-6.0	-13.8	-36.5	-10.0	-13.0	-19.0	-20.5	-39.5	-14.0	-23.0	-37.0	-25.0		-25.0										
									原料値下り			+44.0	+34.0	+78.0										
									原料再値上り			-6.0	-13.0	-19.0	-11.0	-12.0	-23.0	-19.0	-18.0	-37.0	-3.0	-8.5	-11.5	
製品値上げ	-25.0	+7.7	+29.2		+4.0	-	+9.0	+9.0	+14.0	+24.0	+38.0	+25.0		+25.0				+10.0	+22.0	+32.0	+6.5	-	+6.5	
									第1次 製品値下げ			-24.0	-20.0	-44.0										
									第2次 製品値下げ			-10.0	-9.0	-19.0										
販売増・Mix改善		+45.0		+17.5	+5.8	+2.0	+1.0	+3.0	+4.5	+2.5	+7.0	+3.0	+3.0	+6.0				+11.0	+10.5	+21.5	+7.0	+8.0	+15.0	
素材切替・軽量化				+2.0	+8.0	+8.6	+3.0	+8.8	+11.8	+6.0	+18.5	+24.5	+14.0	+6.0	+20.0							+9.0	+14.0	+23.0
生産改善	+2.4	-0.6	-2.0	+6.0	+8.7	+2.0	+1.0	+3.0	+0.5	+2.0	+2.5	+4.5	+5.0	+9.5	+6.0	+6.0	+12.0	+5.5	+3.5	+9.0	+1.0	+4.0	+5.0	
物流改善	+0.3	-14.0	+12.2	+5.5	+8.0	+2.5	+3.2	+5.7	+1.8	+3.2	+5.0	+4.5	+5.0	+9.5	+4.0	+4.0	+8.0	+2.0	+2.0	+4.0	+1.0	+2.0	+3.0	
グループ会社 利益改善												+2.5	+2.5	+5.0	+2.0	+3.5	+5.5	+3.0	+2.0	+5.0	+0.5	+1.5	+2.0	
美術品売却益			+1.0	-1.0					+4.0		+4.0	-4.0		-4.0										
経費増加	-6.2	-19.3	-3.2	+4.2	-7.4	-1.9	-7.8	-9.7	-9.6	-6.0	-15.6	-7.6	-5.1	-12.7	-4.0	-7.5	-11.5	-7.6	-5.6	-13.2	-8.9	-7.5	-16.4	
当期 経常利益	28.6	33.6	36.3	66.5	81.2	32.0	32.5	64.5	39.2	53.7	92.9	60.1	62.1	122.3	68.3	66.4	134.7	69.2	80.3	149.5	75.3	86	161	

設備投資 研究開発費 推移

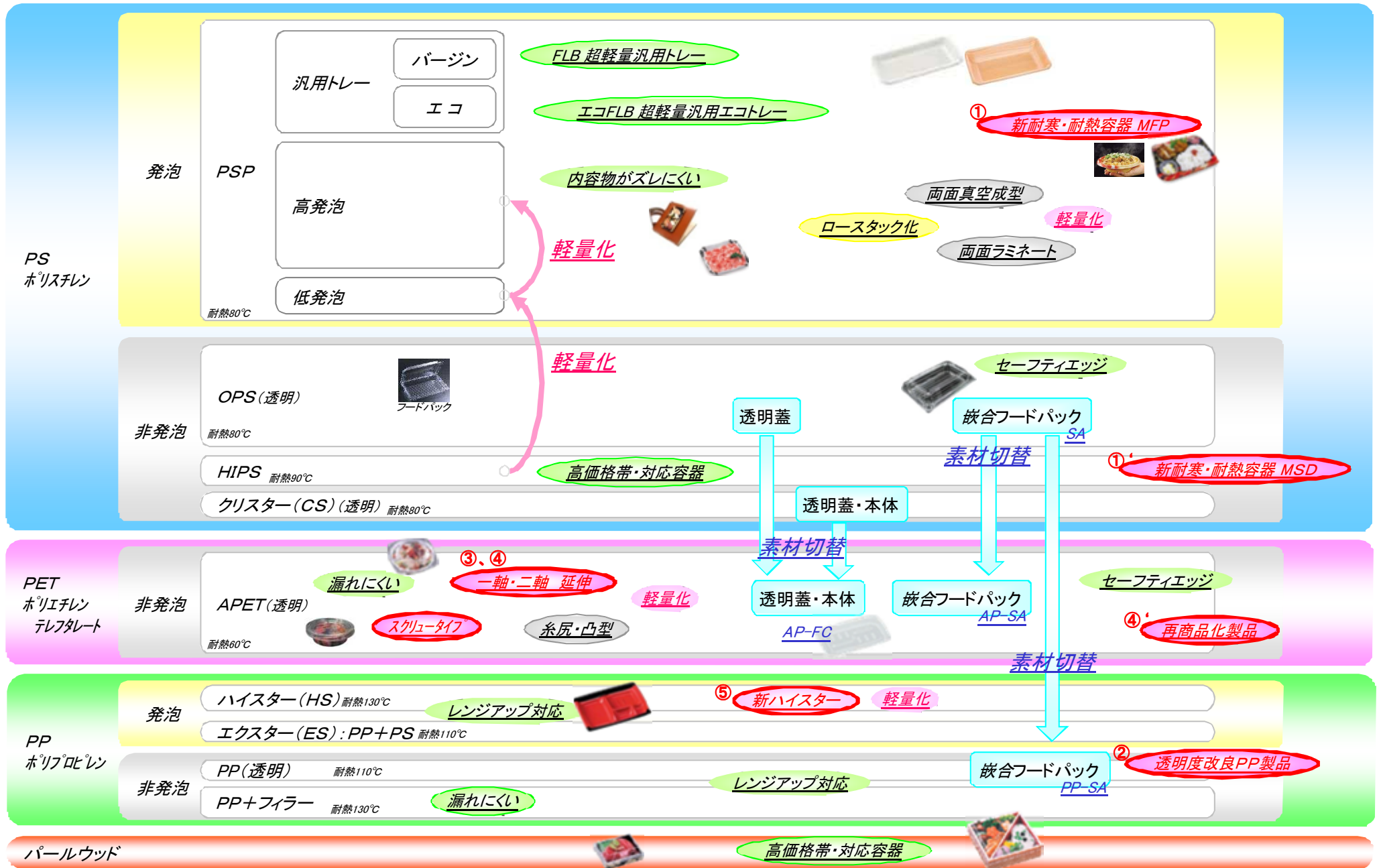
単位: 百万円

	'03年3月期	'04年3月期	'05年3月期	'06年3月期	'07年3月期	'08年3月期	'09年3月期	'10年3月期	'11年3月期	'12年3月期	'13年3月期 見直し	'14年3月期 推定
生産		山形工場			下館第二工場 中部第二工場			太洋興業 日本パーマ容器 ウダ工場 ユーティリティ設備	タイワーズ アライト			
物流	東日本ハブG 九州HG 関西HG				関東八千代G				新岡山PG 新中部PG			九州物流拠点 関西物流拠点 岡山HG倉庫拡充
リサイクル		北海道HG			中部・東北・九州リサイクル工場			容器選別センター全国展開 洗浄ライン 設備刷新 中部リサイクル工場 新リサイクルネットワーク構築				中部 PET/メカニカルリサイクル PETリサイクル事業
その他					東海HG整備 本社事務所 岡山地区土地-整備 関東新工場土地			中部地区土地-整備 ユカホ亭 イネババ				九州物流拠点土地 関西物流拠点土地
設備投資	7,096	5,037	2,742	2,394	9,885	10,909	13,007	9,090	12,585	12,423	14,500	
有形	6,138	4,248	2,621	2,166	9,623	10,666	12,166	8,827	12,362	12,093	14,100	
無形	968	789	120	238	362	254	841	263	223	329	400	
内金型	780	460	436	660	771	609	1,892	1,607	1,833	1,946	1,691	
減価償却	3,339	4,210	4,134	3,965	4,194	4,742	8,467	8,461	9,316	9,728	10,350	
研究開発	654	628	689	751	895	913	965	1,035	1,101	1,051	1,090	



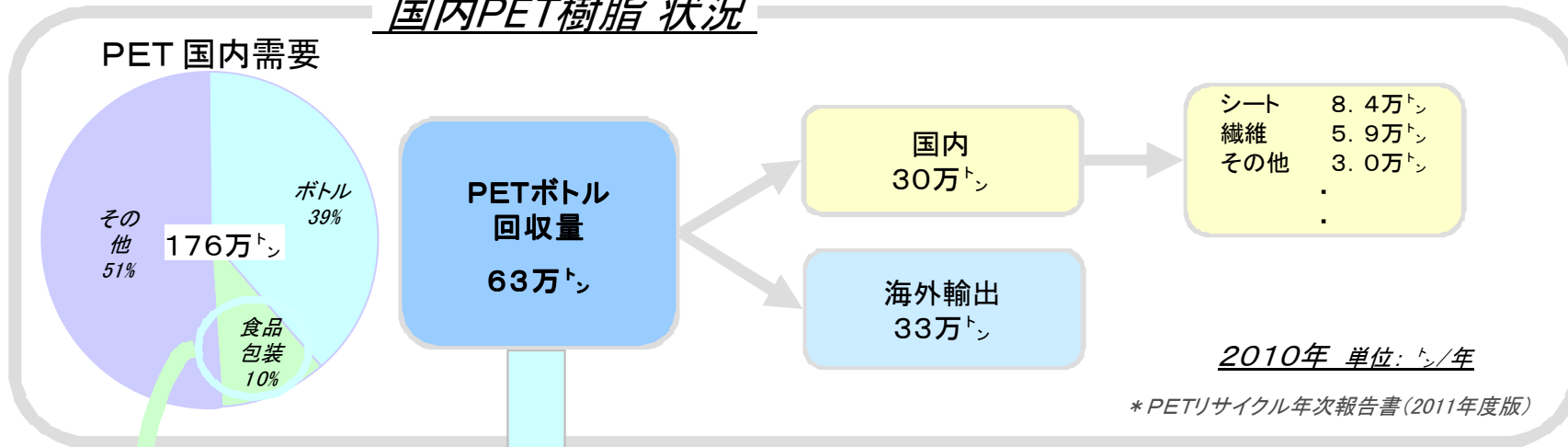
>> '09年3月期より設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

素材別 製品構成



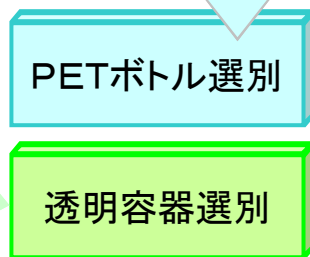
PETリサイクル

国内PET樹脂 状況



PETボトル店頭回収

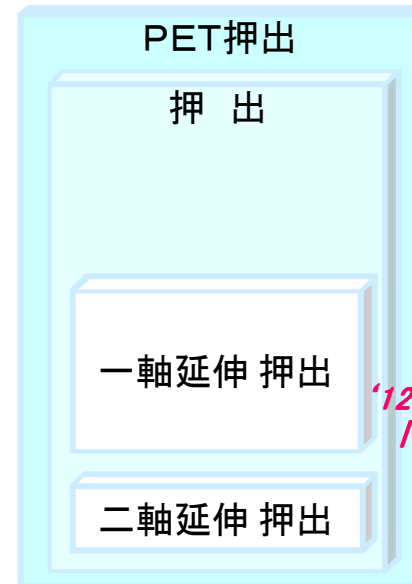
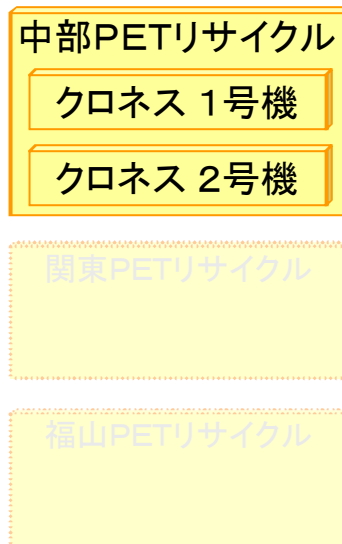
1,500店舗 1,000トン/月を目指す



PET透明容器店頭回収

5,000店舗 200トン/月を目指す

エフピコPETリサイクル



成型



'12年5月
「エフピコ
エコPETシリーズ」上市

選別センター 9拠点

<選別センター9拠点能力(常勤)>
 PSP:26ライン、10,600トン/年
 透明容器:13ライン、1,600トン/年

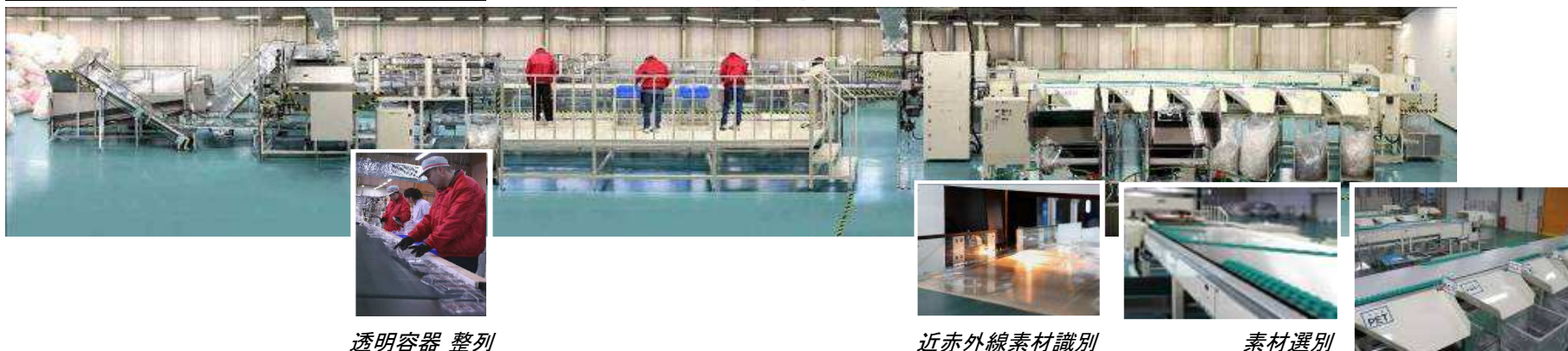
発泡PS容器 色選別ライン 白とカラーに手選別



障がい者の就労

- ・発泡PS容器 色選別作業
- ・透明容器 整列作業

透明容器 素材選別ライン 近赤外線で素材選別 透明容器素材:OPS、PET、PP、PVC、クリスター、他



透明容器 整列

近赤外線素材識別

素材選別



回収



選別



- ・発泡PS容器
- ・OPS透明容器
- ・PET透明容器



減容



リサイクル工場へ

リサイクル工場 3 拠点

選別センター



減容/移送

- ・発泡PS容器
- ・OPS透明容器

・PET透明容器

<リサイクル工場3拠点能力>
 PS:5,000ト/年(常勤)
 PET:20,000ト/年

リサイクル工場

温水+アルカリ洗浄

PS容器 リサイクルライン



1次洗浄
たんぱく質除去

2次洗浄
油分除去

すすぎ2回

脱水

溶融/押出



PSペレット



160億円の販売
('12年3月期)

PETメカニカル リサイクルライン



PETボトル選別ライン

超洗浄装置

揮発成分除去装置

PETフレーク



'12年5月
「エフピコエコAPETシリーズ」上市



・PETボトル

PET透明容器でもリサイクル事業の確立へ

【 関東八千代工場 】 平成24年7月 竣工

投資総額: **85**億円

3層 延14,500坪 建物 175m × 105m × 26m(高さ)

1階: 生産施設 6,300坪

2階: ピッキング 3,500坪

3階: 倉庫施設 4,500坪



【 関東拠点 施設配置 】

